

科目名	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)					開講 キャンパス	神 埼
担当者	橋 本 みきえ						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	精神保健福祉士に期待される役割や相談援助の定義・理念・形成過程・体系などについて解説し、他職種との連携等について理解を促進する。						
授 業 の 到達目標	①精神保健福祉士の制度化への歩みを知る。 ②精神保健福祉士に求められる専門性を知る。 ③精神保健福祉士と社会福祉士の共通点・役割の違いを知る。 ④相談援助の定義と理念について理解を深める。 ⑤相談援助における権利擁護の理念について理解する。 ⑥専門職倫理と倫理的ジレンマについて理解する。 ⑦相談援助の形成過程について理解する。 ⑧多職種との連携の在りかたについて理解する。						
学習方法	講義・ビデオ視聴など						
テキスト及 び参考書等	新・精神保健福祉士養成講座 3 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎・専門)中央法規						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			◎			30	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	グループディスカッションへの主体的参加						10
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	精神保健福祉の役割と意義						
第2週	精神保健福祉の専門性						
第3週	社会福祉士との共通点・差異、協働						
第4週	相談援助の定義						
第5週	相談援助の理念						
第6週	相談援助の価値						
第7週	権利擁護について						
第8週	専門職倫理と倫理的ジレンマについて						
第9週	ソーシャルワークの形成過程						
第10週	精神保健福祉分野における相談援助の対象・目的						
第11週	精神保健福祉分野における相談援助の対象・目的2						
第12週	精神保健福祉分野における専門職の概念とその業務						
第13週	精神保健福祉分野における専門職の概念とその業務2						
第14週	総合的・包括的な多職種との連携						
第15週	まとめ						
第16週	試験						
備 考	精神保健福祉相談援助実習の履修を希望する者は必修。 授業外において各種講演会への参加を促し、および企画・運営を行うことがある。 開講期前までに履修した専門科目について予習・復習の指示を出す。						